

○力武美和子・寺原亮治・中村正幸・西 菜穂子*・岩井 久

南西諸島ならびに鹿児島県本土のパッションフルーツにおける *Passionfruit woodiness virus* 系統の発生調査
Rikitake, M., Terahara, R., Nakamura, M., Nishi, N. and Iwai, H. : The survey of distribution of *Passionfruit woodiness virus* strains in Nansei shoto and the main land of Kagoshima prefecture

現在鹿児島県で確認されている *Passionfruit woodiness virus*(PWV)は、PWV-AO 系統と IB 系統である。しかしこの2系統がどのような分布で発生しているかは不明であった。そこで今回、先に報告したプライマー(岩井ら, 2004)を基に両系統をより安定に検出できるように改良したプライマーセットを用い、奄美大島、指宿市ならびに鹿児島市で栽培されているパッションフルーツを RT-PCR で検定した。その結果、奄美大島の検体からは AO 系統のみが検出され、県本土の検体に関しては AO 系統と IB 系統のそれぞれに単独感染、または重複感染している検体が確認された。近年、奄美大島より県本土への苗の流通が盛んになったことと関連して、奄美大島由来の AO 系統が南薩地域に従来から分布していた IB 系統と混在するようになったこと、さらに両系統とも県内の他地域に分布域が広がっていることが確認された。

(鹿児島大農・*鹿児島農試大島)

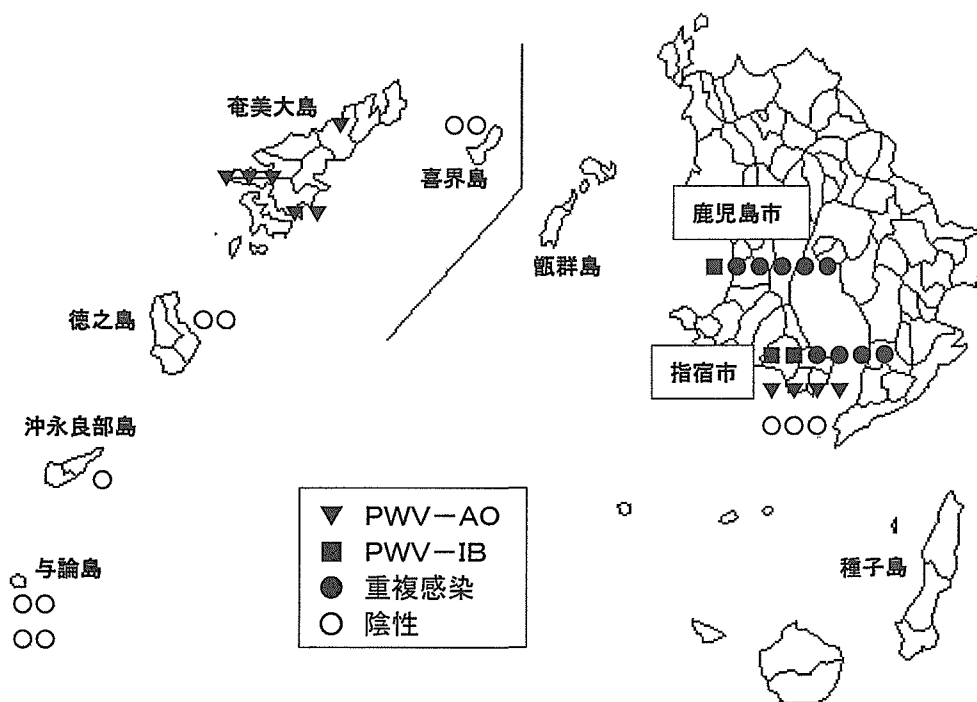


図. RT-PCRによるPWV-AOとPWV-IBの分布調査(2004~05).